

「グランドフィナーレ/聖書預言と情勢アップデート」2020.06.21

https://www.youtube.com/watch?v=POYcPo9V_Ag

『グランドフィナーレ』それでは、おはようございます。ようこそ。私たちのライブ配信、預言のアップデートにご参加下さる事をとても嬉しく思います。主が今日、私たちにご用意下さっている事を楽しみにしています。初めに、すべてのお父さん方に、幸せて祝福された父の日を願いたいと思います。画面に出ている絵を、皆さんにお見せしたいと思います。私はこの絵を額に入れて、もう25年くらい、壁に飾っています。私は何年も前にこれを購入しました。名前の発音に自信がありませんが、ロン・ディキア二作の絵画で、タイトルは"霊的な戦い"です。私はこの絵を見るたびに、とても感動します。百聞は一見に如かずという格言を思い出します。これについてもそう言えるでしょう。息子が寝ている間に、息子のために祈っている父親の姿があります。なぜ私がこれをお見せしているかと言うと、次の話を思い出すからです。ある夜、一人の父親が、息子の祈りを耳にしました。

「親愛なる神様、僕を パパのような男にしてください。」それを聞いた父親はその夜、こう祈ります。「親愛なる神様、私を、息子が思っているような男にしてください。」それが全てを物語っていますよね？ 私はあんまり、、、今の時代に父親たることは、意気地のない人たちには向きません。そんな風に言っていていいですか？ 言ってしまいました。本当に最も難しい仕事は、父親業だと思います。私は起業し、会社を所有し、運営し、教会を始め、牧会しました。それを全部組み合わせても、父親としての難しさとは比較できません。だから、すべてのお父さん方に、エールを送りたいと思います。そしてもっと重要なことは、私たちが祝うこの父の日に、私たちは確かに天の父を敬いたいと思います。さて、始めましょう。話すべき事がたくさんありますから。今日のお話したい事は、100年以上前に始まった事、もしかしたら、それよりもっと前に始まった事です。それは今や、"グランドフィナーレ"に至ろうとしています。私がグランドフィナーレと言う理由は、現在進行中の策略があって、この不法と混沌の重圧によって現在の世界秩序を崩壊させ、新世界秩序を導入しようとするもので、私は、今言った策略の成功実現は 目前であると言わせてもらいましょう。それは「もしも」の問題ではなく、「いつか」という問題ですが、その時にはゲーム終了です。元気が出ますよね？ 素敵な午後を過ごしてください。今日のアップデートの後、私たちは 第二テサロニケ 2章の節ごとの聖書の学びで、既に働いている不法を見ていきます。今日の箇所は、4節から12節です。オンラインでご覧になる方は、アップデート後、ハワイ時間の午前11時15分にライブを開始します。私がこれに触れる理由は、私が数週間にわたってお話ししてきたように、第二テサロニケ 2章は実際に、今日の世界、特にここアメリカで起こっている事を 全て描いた構図の表題になり得るからです。だから私たちの聖書の学びでは、患難前携挙がどれほど近いかを見ていきますが、それは、携挙の後に起こる事が、今、携挙の前に、既に働いている事を根拠にしています。それが、私たちがどれだけ（携挙に）差し迫っているかを示しています。

繰り返しますが、ハワイ時間11時15分からです。ウッドロー・ウィルソン（元アメリカ合衆国大統領）の引用から始めましょう。1913年に遡り、引用します。

「私は政界に入って以来、とりわけ男性の見解を個人的に打ち明けられてきた。...商業や製造の分野における米国トップの男達は、何かを恐れている。...彼らは、どこかに、非常に組織的で、非常にとらえがたく、非常に用心深く、複雑に連携し合い、非常に完璧で、非常に広く浸透している勢力があっ

て、...

...それを非難する時には、息を潜めて話した方が良いのを知っている。...

先週、G.エドワード・グリフィン司会の1984年のインタビューから抜粋引用しました。彼の番組には、ユーリ・ベズメノフという名のロシアのKGBの亡命者が出演していて、自由世界を破壊するための4段階を説明していました。私が今日やりたいのは、それ以前のG.エドワード・グリフィンのビデオからの抜粋を引用する事です。これはオンラインでご覧になれるものです。彼は、共産主義者たちが、いかに人種間の扇動、暴力、社会主義を利用して、アメリカで共産主義革命を起こす計画を持ってきたかを説明しています。これらの抜粋を聞いてください。引用します。

「早くも1928年に、共産主義者たちは我々の社会構造という織物において、国民の間にある人種の違いが最大の弱点になりえると宣言した。...この1点を絶えずつつき、ピンと張る事によって、彼らは最終的にはその生地を引き裂き、...アメリカ人を分裂させ、弱体化し、場合によっては互いに敵対させて公然と闘争させる事もできると計算した...我々は共産主義者たちが扇動者を黒人社会にだけ配置していると思っはいけない。...彼らは双方側に働いている。...彼らは人種間の憎悪、暴力、流血を望んでいるのだ。...そして、彼らはそれをどうやって達成しようが、誰を利用しようが気にしない。必要であれば子供さえも。」そこでグリフィンは、マニング・ジョンソン作の『肌の色、共産主義、常識』という本を持ち上げて、続けます。グリフィンが言います。「...彼(ジョンソン)は若い頃アメリカの共産党に加わった。...彼は共産主義者が、自分たち(黒人)の状況を改善しようとしていると本気で信じていたからだ。...彼は熱心な共産主義者で、最終的には最高位の一つにまで上り詰めた。...しかし、何年も経って彼が発見したのは、そうではなく...共産主義者は、アメリカを破壊するための血まみれの革命に、自分たちを利用しようと計画していただけである事だ。...共産主義者が求めるのは、様々な都市での広範な混乱[カオス]だけでなく、...すべての村、すべての森、すべての野原、およびすべての納屋に火をつける事だ。...(その計画とは?)...その計画は、一つの都市から次の都市へと激しい火災を起こすこと。...(その理由は?)...第一に、破壊そのものに価値がある。...第二に、それは可能な限り広範囲に防衛と救助部隊を配備させることになる。...その共産主義者の指摘によると、我々の警察と州兵が集中している限り、彼らは無敵であるが、...彼らが都市全体や地方にも広がるのを余儀なくされれば、...張り込み場所から一人ずつ狙い撃ちする事ができる。...そして、共産主義者にとってのその大規模火災の第三の価値は...心理的なものである。」これを聞いて、私は大変衝撃を受けました。「平均的なアメリカ人は軟弱で退廃的だ。...黒い煙柱が地平線から地平線へと立ちあがるのを見ると、...恐怖とパニックで麻痺し、逃げ出して隠れ、...ゲリラ隊が地域のパワーセンターを攻撃する時、その邪魔をしないだろう。...黒人の反乱は、モスクワが望んでいたものだ。...血まみれの人種紛争がアメリカを分裂させるだろう。...

...混乱と道徳低下の間に(私たちが先週話した事です)パニックが起こり、...そして、最終的には共産党指揮の下で町中での争いが頻繁になる。...労働者は暴動武装労働者の指揮をとるべき革命的委員会を組織し、...そして、(お聞きください)主要な官庁を占拠する。」私は、シアトルで実際に何が起きているか、悍ましくゾッとするような動画を見ました。どうやら、殺人が2、3件起きていて、警察が対応していないらしいです。悲しい事に、この計画は上手く行っているようです。警察官たちは今、辞任していますから。そして。。。それよりもさらに悪いのが、この全策略に従って、彼らが占領したシアトルのこの地域内で起こっている事の幾つかは、...それは長年の計画によるものですが、説教壇か

ら敢えて生々しいことは言いませんが、 ロトの時代のようなと言えれば十分でしょう。そしてまたノアの時代にあったように。それは邪悪で、悪魔的です。こんな出来事は、サタンの的です。私はもう一つビデオを見たんですが、最後まで見れませんでした。その地域内にいたこの女性は...CHAZ（シアトル占領新自治区）は今、CHOP（Capitol Hill Occupied Protest）と呼ばれます。その女性は涙を流し、しゃくり上げそうになりながら、人々に嘆願しているのです。彼女曰く、「ここで何が起きているのか、あなたたちには想像もつかないわ。」グリフィンの引用を続けます。

「この全面的な社会的少数派革命は 危機状況を作り出さねばならず、...男性人口の大半が、彼らの財産と家族を保護するために 在宅を強いられねばならない。...中流階級人口は非常に多いが、彼らは欠乏や恐怖には慣れていない。...その豊かさ故に、脆弱なのだ。...大きな火災や流血、暴力には耐えられない。」

そして、彼はこう言います。お聞きください。「その生活の背後にある原動力は、…（彼は、豊かでひ弱なアメリカ人の事を 言っています。）「中流階級の生活の原動力は、名声、目立った消費、官能的快楽の果てしない追求だ。」敢えて言わせてもらおうと、悲しいことに、これはこの国を適切に描写しているだけでなく、悲しいことに、それはまた、この国における イエス・キリストの教会も適切に描写するものです。さらに悪化します。まだ引用中です。もうすぐ終わりますので、帰らないでください。因みに、これには非常に良い結末があります。ネタバレ注意。 ですからご辛抱ください。

「暴力的、散発的で破壊力の高い反乱が数年続くと、 グランドフィナーレの舞台が整う。...長引く闘争を経て、きちんと舞台が整った後、...アメリカは90日以内に屈服し得るだろう。」考えてみて下さい。これについて考えてみて下さい。90日前のことを考えてみて下さい。90日間でどれだけの事が起こったのでしょうか。約90日前に、全てがロックダウンしました。90日間で何が起こったのか見ると、では、次の90日間に、何が起こるのでしょうか？ うーん。「アメリカは、高度に組織化された激しい戦闘、破壊工作、巨大な火災旋風によって、90日間で屈服されうるだろう。...皆さん、彼らには全ての問題を解決する 唯一無二の解決策がある。...政府の拡大、さらなる政府の拡大、もっともっと政府を拡大すること、それが絶対権力を持つ政府になるまで。...もう一度言うが許してもらいたい。全体主義的政府は共産主義だ。」特に若い世代で、共産主義の議論に 全く馴染みのない人が理解しておくべき事は、この共産主義が、このルンパールの的で全体主義的な 反キリスト支配へ向けた完璧な嵐であることです。反キリストがついに登場してくると、私たちは今日、第二テサロニケ2章で これについて学びますが、彼が登場する時、彼は何も打ち立てません。彼はスイッチを入れるだけです。それはすでに配線されてるから。

導管は既に走っていて、配線は既に接続されています。すべて準備ができています。そして、彼がするのは単に、世界統一政府、世界統一経済、世界統一宗教のスイッチを入れるだけです。すべては既に設定されています。彼が登場する時にせねばならないのは それだけです。ところで、私は個人的に、その時点になると、すべてが非常に速く進行すると思っています。そうならねばならないとも言えます。完全な混乱のために。なお、それが要点なのです。混沌から生じる秩序です。混沌の中から生じる、事前に計画された秩序であり、現在の混沌が新世界秩序をもたらすのです。それが策略です。聖書預言に慣れておられない方々の為に言いますが、これは聖書で予告されています。特に2つの書で:旧約聖書のダニエル書と、新約聖書の最後のヨハネの黙示録に。黙示録は、聖書の中で唯一、それを聞く人、読む人、心に留める人に祝福を約束する書です。聖書の中で祝福を約束する書は他にはありませ

ん。実際、ダニエル書は、黙示録の中の、具体的にはその13章にある預言と深い預言的な並列性があります。さらに具体的には、獣の像に関連して、獣の名前の数は666で、彼は自分が崇拜されることを要求します。言い換えれば、携挙の後、7年間の患難時代に、反キリストは、刻印を受け入れず、彼にひれ伏す事を拒む者を皆殺しにします。黙示録13章15節から18節を読みます。お聞きください。ところで、皆さんいかがですか？今のところ大丈夫ですか？ご辛抱ください。

「それから（第二の獣は）、獣の像（第一の獣）に息を吹き込んで、獣の像がものを言うことさえできるようにし、また、その像を拝まない者たちをみな殺すようにした。」（黙示録 13：15）

「また獣は、すべての者に、すなわち、小さい者にも 大きい者にも、富んでいる者にも貧しい者にも、自由人にも奴隷にも、その右の手あるいは額に 刻印を受けさせた。」（黙示録 13：16）

「また、その刻印を持っている者以外は、だれも物を売り買いできないようにした。刻印とは、あの獣の名、またはその名が表す数字である。」（黙示録 13：17）

「ここに、知恵が必要である。思慮のある者はその獣の数字を数えなさい。それは人間を表す数字であるから。その数字は、六百六十六である。」（黙示録 13：18）

ダニエル書3章1節。これは、類型論として知られているものです。私は類型論が好きです。それは、まだ後に訪れるものについての 聖句による構図であると説明する方が良いかもしれません。実際に起こった事でありながら、将来に起こる事の預言的な型を表します。これを見て下さい。

「ネブカドネツアル王は金の像を造った。その高さは（興味深い詳細です）六十キュビト、その幅は六キュビトであった。彼はこれをバビロン州のドラの平野に建てた。」（ダニエル 3：1）

4節、

「伝令官は力強く叫んだ。『諸民族、諸国民、諸言語の者たちよ。あなたがたはこう命じられている。』」（ダニエル 3：4）

「あなたがたが角笛、二管の笛、豎琴、三角琴、ハープ、風笛、および、もろもろの楽器の音を聞いたときは、…」私は手のサインに気を付けないといけません。

「…もろもろの楽器の音を聞いたときは、ひれ伏して、ネブカドネツアル王が 建てた金の像を拝め。」（ダニエル 3：5）

「ひれ伏して拝まない者はだれでも、（あえて言いますと、膝を屈めない者は）即刻、火の燃える炉に投げ込まれる。」（ダニエル 3：6）

何という事でしょう。類型論とはまさにこれです。60キュビト X 6キュビト。それに6つの楽器。666です。その像については、膝を屈めて、像を崇拜しなければ、あなたは殺されます。これはすべて予型です。そして、それよりもさらに興味深いのは... 皆さん、その話を知ってますよね？ シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴがいます。彼らはこの像に膝を屈め、崇拜することを拒否します。なぜなら、彼らは真の生ける神だけを 崇拜するからです。では、どうなると思いますか？ 彼らは炉に投げ込まれる事になりますが、ただの炉ではありません。いつもより7倍も高温になった炉です。それはあまりにも熱いので、彼らを炉に投げ入れた男たちが カリカリに焼かれてしまいます。大げさに強調して申し訳ありませんが、要点はお分かりかと思います。そして、さらに良くなります。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは、7倍熱い燃えさかる炉のど真ん中において、そして彼らの衣服は、煙の臭いさえしなかったと言われています。見たところ、ネブカドネツアル王は見ていて、彼らが燃え尽くされるのを待っています。そして、彼は中を覗いて言います。「待て、ちょっと、ちょっと待て。」「3

人を投げ込んだはずなのに、私には4人の者が見える。4人目は神の子のような姿をしている。」あ〜〜それはホントに神の子だからです〜！ここからが、神はユーモアのセンスを持っておられると私には分かる理由です。私は鏡を見るたびに、神がユーモアのセンスを持っておられるのが分かりますが（笑）しかし私は、神がユーモアのセンスを持っておられるのを知っています。なぜなら、ネブカドネツアル王は、言うのです。「お前たち、炉から出てきなさい。」私がシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴなら、「何?!結構です。」「いいです。もともとあなたが 私たちをここに投げ入れたのでしょ!!」ところで、そこにイエスがおられます。7倍も熱い火の炉の中で 私たちを救ってくださっています。これは、第二テサロニケ2章で 私たちが話すことになる構図です。私は待ちきれません。皆さん分からなかったでしょ？

ユダヤ人は、7年間の患難時代の真っ只中で、反キリストが荒らす憎むべきことを犯すとき、彼らは救われます。彼らは逃げ出し、後半の3年半、神が彼の民を守られます。これは予型です。ええ、さらに良くなりますよ。私が何を言おうとしているか、ちゃんとご存知の皆さんもいますね。これはダニエル3章です。これはすべてダニエル書3章に書かれています。ダニエル3章の前に 何があるかご存知ですか？深いですよ。ダニエル2章です。私は媚びたり、可愛くしようと しているわけでもありません。しかしダニエル2章では、ダニエルが夢を解釈した後、王がダニエルを高い位につけ、もうそこにいません。ダニエルは、引き上げられて、7年間の患難時代にはここにいない教会の予型です。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは、イスラエルの予型です。彼らは患難時代に入り、そのど真ん中で救われます。なぜでしょうか？なぜなら、患難時代の目的は ユダヤ人国家の救いのためだからです。ああとところで、最後に確認した所では、やはり、皮肉っぽく言うつもりはないんですが、賜物なので。しかし、私が最後に聖書を確認したところでは、それはヤコブの苦難の時でした。ダニエル書の第70週目。ヤコブって誰でしょうか？イスラエルです。教会の苦難の時ではありません。それはイスラエルの苦難の時、それがダニエルの第70週。これが私の目指すところです。何人かの方は私を見て、どこへ向かっているのか？とお思いでしょう。尋ねて下さって嬉しいですよ。あなたに言いましょ。聞きましたよね？いいでしょう。ダニエル同様に、この全てが起こる (go down)前に 私たちは、上に上がろう (go up) としています。それは起ころうとしているのです。言わば私たちは、ダニエル書2章に今いて、ダニエル2章の後には何が来ますか？ダニエル3章、7年間の患難時代です。私はこの"COVID-危機/コロナ危機"が… (私はそう呼びますが、)すでに働いている不法や混沌と相俟って、前述のグランドフィナーレへと 向かっていると言わせてもらいます。もしあなたがイエス・キリストの信者であり、キリストをお慕いする者であるなら、すごくワクワクしているはずですよ。そうでない場合は？あなたは当然、絶対に恐れるべきです。「うわー、牧師先生、それはどうも。」いえいえ、最後まで聞いてください。あなたがオンラインでご覧になっているなら、私は可能な限り愛をもって言います。私はあなたにお世辞を言って地獄に行かせるより、怯えさせてでも天国に行かせたい。それは起こるのです。既に来ています。不法は既に働いています。秩序をもたらすために、反キリストは (この表現を使いますが、) 「最終的な解決策」を持っているようです。そして世界支配のための彼のグローバルシステムを実行します。こうして彼は崇められ、7年間の患難時代の中間点で、自分が神として崇拜されるのを要求します。その時、イスラエルは荒野に逃げます。私を含め多くの人々が現在のヨルダンのペトラと信じる場所へです。私たちはやはり第二テサロニケの学びで この事について話すつもりです。皆さんは私がこう言うのに うんざりするかもしれませんが、言わせてもらいます。

私たちには今、文字通りいつでも起こりうる 教会携挙が差し迫っています。私は心からそれを信じており、 今日ほどにそれを信じたことはありません。毎日、全ての人をイエスに近づける時があるとするれば、それは今日です。まだ時間があるうちに。もう時間はありません。もう時間はありません。野球に例えれば、もう9回裏になってしまいました。第4クォーターの最後の数秒です。いいでしょう。神は私の心をご存じですから。残りの時間、お許しいただければ、主が私の心に置いてくださった事をお話します。この3ヶ月間、私は多くのことを学びました。

情報を送って下さった皆さんやオンラインの皆さん、とても感謝しています。すごいですよ。情報がたくさん。私は非常に多くのことを学びました。主が聖霊によって、私にさせて下さる限りにおいて、私は皆さんに、今の世界で起きている全ての事に関する 預言的な意味を知ってもらうために、精一杯の努力をしてきました。私にも分からないわけじゃありません。来るべきものについて私が話してきた事が、控えめに言っても 非常に心が騒ぐようなものである のは分かっています。しかし事の真相は、これが真実だという事です。これは真実であり、真実以外の何物でもありません。ですから、神よ、助けて下さい。またそれは真実であるだけでなく、生と死の問題でもあります。それが、私たちがいる時刻の緊急性です。さて、この危機のせいで、主のもとに来た人や、主に立ち返った人が大勢います。

多くのミニストリーで、教会の扉が閉ざされた中、このような事が起こっているのを見て、私たちは確かに喜びを感じています。フィラデルフィアにある教会宛てに、イエスがヨハネに書かせた手紙を思い出します。

「彼が開くと、だれも閉じることがなく、彼が閉じると、だれも開くことがない。その方がこう言われる一。」 (黙示録 3:7)

言ってみれば、人間が教会のドアを閉めていて、神は、「へえ、そう?」「さあ、わたしのする事を見なさい。」そして、物理的に扉が閉まった状態の中、今までにないほど、多くの人に福音が届けられたと言えると思います。キリストのもとに来た人たち、または 初めの愛に戻った人たちが大勢います。この危機のお陰で。私はたしかイザヤ書にあった聖句を思います。

「まことに 人の憤りまでもがあなたをたたえ あなたは あふれ出た憤りを身に帯びられます。」 (詩編 76:10)

ああ～ いいですね。人の怒りは、最後には、神を賛美し、人々を主のもとに引き寄せるのです。創世記50章20節です。皆さんがもう聞き飽きてるのは分かっていますが、全聖書の中で私のお気に入りの節なのです。他の聖句も好きですが、これは特に好きなんです。ヨセフが兄弟たちにこう言う所です。「あなたがたが私にしたことは」「あなたがたは私に悪を謀りましたが、神は、、、」この2つの言葉、BUT GOD=が、しかし神は!!! ああ!!! これが全てを変えるのです。

「が(しかし)神はそれを、良いことの為の計らいとしてくださいました。それは今日のように、多くの人が生かされるためだったのです。」 (創世記 50:20)

人間の悪... それは邪悪です。が、しかし、神は。私には想像できるようです。天の御国では、天の万軍が、「ああ、いいぞ。」「これはいいぞ。」「彼らは何をしようとしているか見てごらん。」だから確かに私たちは、多くの人がこの危機のお陰で、主のもとに来て、主に立ち返った事を喜びます。しかし、暴露された人たちがいます。どういう意味か説明します。ご辛抱ください。患難前の教会携挙は、私たちの誰もが 想像しうるよりも近づいています。それなのに、ただ言い争いたがる人たちがい

ます。信仰の戦いを立派に戦う代わりに。

失われた者に手を差し伸べ、手遅れになる前に、地獄の火から多くの人々をつかみ出す代わりに。

私が主に尋ねていると、主は私をハバクク1章3節に導いて下さいました。ここでその預言者は、なぜ自分の周りで罪と悲惨さを見続けなければならないのかと主に尋ねます。それでも足りないかのよう
に、どこを見ても破壊と暴力しか見えません。私は明らかであると思われる理由から、不法も付け加
えたいと思います。と同時に、言い争いや喧嘩好きな人たちに囲まれています。使徒パウロがガラテ
ヤの教会に書いた書簡、5章14節と15節。パウロは彼らを戒め、彼らを叱責さえます。

彼が言っている事を聞いてください。

「律法全体は、『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という一つのことばで全うされるの
です。」（ガラテヤ 5:14）

「気をつけなさい。互いに、かみつき合ったり、食い合ったりしているなら、互いの間で滅ぼされて
しまいます。」（ガラテヤ 5:15）

私は、イエスが仰ったことを考えます。「敵は、盗み、殺し、滅ぼすために来る。」そして敵は、自
分のために、また自分の代わりに、キリストの体に汚い仕事をさせる事に大成功してきています。イ
エスは、仰いました。

「人々はどうやって、あなたがたが私の弟子であると知るとおもいますか?」「主よ。どうやってです
か?」

「互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が
認めるようになります。」（ヨハネ 13:35）

それがリトマス試験になります。もちろん、サタンはそれを知っています。私たちが互いの愛によっ
て弟子として知られるのなら、問題になるのは、私たちが互いに愛し合うのではなく、互いに破壊
させ合っていたら、どうなのか? パウロが、第二テモテの2章23節から26節で次のように書いてい
ます。

「愚かで無知な議論は、それが争いのもとであること知っているのですから、避けなさい。」（第
二テモテ 2:23）

「主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人にやさしくし、よく教え、よく忍耐し、」
（第二テモテ 2:24）

「反対する人たちを柔和に教え導きなさい。神は、彼らに悔い改めの心を与えて、真理を悟らせてく
ださるかもしれません。」（第二テモテ 2:25）

そして彼はこう言います。注意してお聞きください。

「悪魔に捕らえられて思いのままにされている人々でも、目を覚まして、その罠を逃れるかもしれま
せん。」（第二テモテ 2:26）

これらはクリスチャンなのです。敵のために、その意図、その汚い仕事をするために悪魔に捕らえら
れたクリスチャンです。私がこれを言う不躰をお許しください。しかし、何が来ようとしているかを考
えると議論するのがお好きな人たちは、正気を取り戻す必要があります。救われた人たちと口論する
のはやめて、迷える人に手を差し伸べましょう。...お分かりいただきたいのですが、私は批判の話を
しているではありません。こう思ってる人もいますね。「あらまあ、先生、イヤな一週間だったん
ですか?」

いえ、そういう問題じゃありません。私はそんな繊細ではありません。信じて下さい。もし私がそうだったら、聖職についてはなかったでしょう。繊細だったら、決して聖書預言を教えたりはしません。こう言われています。ミニストリーに携わりたいなら、子供の心、学者の思考、サイの皮膚が必要だ。私は自分に対する批判や攻撃の事を言っているではありません。もちろん、それは増えています。実際には、それは名誉の証なんです。私が、敵の怒りを煽っているのは分かっています。私がいつ心配になるか知っていますか？ 攻撃がない時です。私が本当に心配になるのは、悪魔から感謝状と妻への花束が届く時です。「その調子で頑張る」「あなたは闇の王国にとって何の脅威でもない。」それが私が心配する時です。私への攻撃の量は、指標です。それによって、私は、神が私に託して下さった、私の特権であるミニストリーの有効性を計ります。だから、そういう事ではないんです。問題はこれです。どうか、

私の心の内を最後までお聞きください。クリスチャンがお互いに議論し、戦い、喧嘩する時、それはキリストのためにどんな広告になっているのでしょうか？それはイエス・キリストのためのどんな証になっていますか？ 恥を知りなさい。恥を！世界が見ているのにあなたはそれをやっているのか！？ ふざけてるのか？ この人類の歴史の最後の時間にあなたはこんな事やあんな事で戦っているのですか？ 正気に戻りなさい！ あなたは悪魔の意志を実行するために捕らえられ、破壊を行っているのです！！

あなたはキリストの体を貪っている！！ やめなさい！ お願いだから！ 私たちは携挙目前だというのに、あなたは議論したい？！ あなたは議論したいのか？！ すいません。いいえ、謝りません。全然申し訳ないとは思いません。イエスはマタイの福音書12章で仰いました。原語では、その言い方が大変興味深いのです。基本的にはこのような内容です。

「人は、口にするあらゆる無益なことばについて、 [あらゆる議論がましいことばについて] さばきの日に申し開きをしなければなりません。」 (マタイ 12:36)

私たちは皆、いつか神の前に立つのです。神の御言葉の権威に基づき、私はあなたにこれを約束します。神の御言葉の権威に基づいて。その日神は、あなたに決して仰いません。「良くやった。」とは。「あなたは、彼らによく言ったもんだな。」「わー、よくやった、議論好きな僕(しもべ)。」神がキリストの体の中で、警官になるべく誰かに召命を与えるとは、どこにも書いてありません。私たちは警察になるべきではありません。救急隊員になるべきです。私と私の家は... 私と私の教会は...私は皆さんをととても愛しています。私はこの教会が大好きです。主は、私の心をご存知です。私と私の教会は、私たちはメッセージを続けます。私たちは御言葉を宣べ伝えます。私たちは福音を宣べ伝えます。まだ時間があるうちに、迷える人に手を差し伸べます。もう少しで時間がなくなりますから。これが私たちがこのアップデートをする理由です。これが私たちが福音で締めくくる理由です。福音とは何でしょうか？福音という言葉は、良い知らせを意味します。「あなたの負債は支払われました。あなたは自由に行って良い。」それが福音という言葉の意味です。あなたは、「ちょっと待って。何の負債ですか？」と仰るかもしれません。「はい、罪の負債です。」「罪の負債とは何でしょうか？」「死刑です。」それは悪い知らせです。見ての通り、私たちは皆死刑判決を受けています。しかし、ここに良い知らせがあります。イエスが来て、彼は私たちの身代わりに死んで、私たちに自由にして下さった。それが良い知らせです。良い知らせは、イエスが十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえった事です。そして、彼はいつか私たちのために戻ってきます。もうまもなく。すぐく間近に。

「救いの ABC」とは何でしょうか？「救いの ABC」は、救いのための 子供のような簡単な説明です。誰かの知性を侮辱する意味はありません。イエスは、仰いました。

「子供のように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに入ることはできません。」 (ルカ 18:17)

それは子供じみたではなく、子供のような。子供がいかに信頼しているかご存知ですね。彼らはとても信頼するので、私たちは、「見知らぬ人は危険だ」と注意しなければならないほどです。それがイエスが仰っている事です。あなたはこの子供のような信頼を持ち、信頼する事において、子供のようにする必要があるので、それが「救いの ABC」なんです。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また 自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

ローマ書 3:10 には、

「正しい者はいない。一人もいない。」

とあります。あなたは良い人かもしれませんが、決して十分ではありません。

そしてローマ書 3:23 が、その理由を教えてください。

「人は皆 (私たちの誰しものが)、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」 (ローマ 3:23)

ローマ書 6:23、私がこれが好きなのは、他により良い言い方がないのですが、先に悪い知らせがありそれと良い知らせとが セットになっているからです。信仰を分かち合い、福音を伝える上で それにはメリットがあると思います。まず、私たち全員が罪びとであるという 理解が必要です。私たちは皆罪を犯し、全員が不十分なのです。なぜなら、私たちが罪びとであることを 認識する場所に来ない限り、**救世主には興味を持ってませんから。だからここに悪い知らせがあります。**

「罪が支払う報酬は死です。...」 (ローマ 6:23a)

死刑宣告です。誰しものが罪を犯したからです。しかし、ここに良い知らせがあります。

「しかし、神の賜物は、私たちの 主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」 (ローマ 6:23b)

贈り物とは何でしょうか？これが当たり前なのは分かっていますが、ご辛抱ください。贈り物は、誰かがあなたのために購入し、あなたにくれたものです。あなたはその支払いをしなかった。あなたが支払えば、贈り物ではありません。買った物です。そうではなく、彼がそれを購入し、贈り物として私たちにそれを提供しています。それは、いくらかかったのか？全てです。彼は命を犠牲にしました。彼は私たちの身代わりに流された彼の血で、私たちを買われました。それがAです。次はBです。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。ローマ書 10:9-10 は、次のように始まります。

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」 (ローマ 10:9)

そして最後に C、C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ 10:9-10、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」 (ローマ 10:9)

それは決定です。暫定的ではありません。あなたは救われます。ここに理由があります。

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」 (ローマ 10:10)

そして最後に、ローマ 10:13 は取引成立。

『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』（ローマ 10:13)

それは単純すぎますか？ それが単純で、私は良かったです。38年前の私にはそれが簡単である必要がありました。もし救われるために量子物理学を学ばないといけないと言われたら、私は永遠に呪われた運命でしょう。だって、そんなの無理です！ いいえ、これは大変シンプルなのです。子供のようにシンプル。ご起立ください。祈りましょう。

天の御父よ。父の日として祝うこの日、私たちは今日、あなたを天の父として讃えたいと思います。また主よ、私たちが今祈りで締めくくるに当たり、あなたが天の御父として、この上なく 私たちを愛して下さることに感謝します。あなたは、あなたのひとり子イエスを、私たちの身代わりに死なせる為、この地上に送って下さいました。あなたを信じる誰しものが、救われ、永遠の地獄で滅びる事がないためです。わお。。。主よ、私は今日この礼拝に参加しているか、または オンラインでご覧になっている人の中で、永遠の命のために、彼らの人生で最も重要な決定をしたことがない方の為に祈ります。今日が、彼らの救いの日となり、彼らが1時間たりとも先延ばしにしないように。主よ、救われている私たちについては、私たちが今日の世の中で起こっている事を見るにつけ、私たちの心を励まし、強めて下さいませんか？ あなただけが出来る方法で、聖霊によって、私たちの頭を上げて下さいませんか？ あなただけが、私たちの頭を上げられるのです。主よ、私たちの贖いが近づいたのを知って、私たちが体をまっすぐにし、頭を上げるために。主よ、早く来て下さい。早く来て下さい、主よ。私たちはあなたがもうすぐ来られる事を知っています。私たちはあなたに感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7